

# 2025 子どもだけのまちをつくろう！第2回実行委員会(10.5)

## educaもんじゃでアイスブレイク



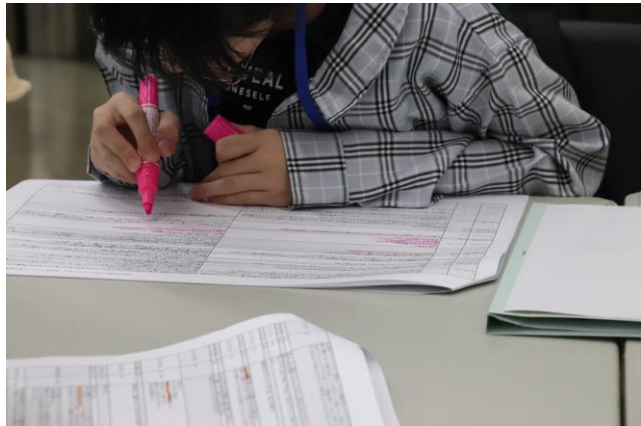
今回は緊張をほぐすアイスブレイクとして、educaもんじゃ、というカードゲームを行いました。educa+のメンバーがカードになっており、あだ名をつけてそのあだ名を記憶していくゲーム。

私たち大人は、年齢が上なのでどうしてもとっつきにくかったり、なんとなく緊張して話しかけづらいかもしれない、または大人だから色々教えてくれるかもしれない、というような距離感をなくし、面白い大人、話しやすい大人、頼りにならない大人として認識してもらうのが目的です。今年もいろんな楽しいあだ名をつけていただきました。



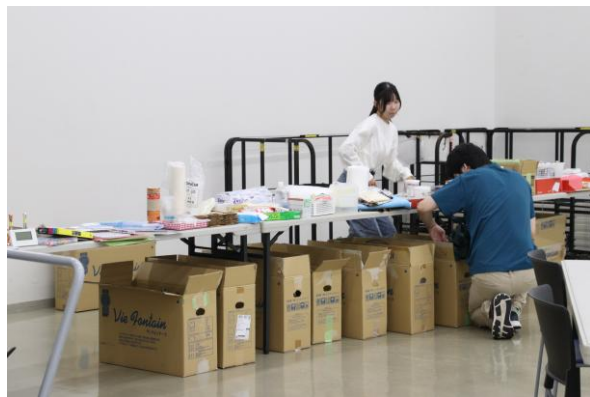
## 本物の投票箱で投票

熱のこもった市長演説を聞いた後は、候補者の中から今年度の子どもだけのまちな市長になってほしいと思う人を決め、それぞれが大切に一票を投じました。市役所から本物の選挙で使用する投票箱が表れて子どもたちもびっくり。投票用紙や済証も本物に近い形で再現しています。



## 参加者アンケートを読みましょう

昨年度の子どもだけのまち参加者アンケートを実行委員限定で配布し読んでもらいました。嬉しい声から厳しい声まで実行委員はスタッフとしてその声に向き合う時間になります。気になった点や改善したいと思った部分をグループで共有し、そのためにどんなことができそうか？どんな役割があったら解決できそうか？を考える中で、自分たちのまちはもっとこうしたい、という具体的なイメージが膨らんだ時間でした。全体で発表する際にはたくさんの実行委員が手を挙げてくれ、前向きな気持ちを感じられたいい時間でした。



## 問屋の在庫で何ができそう？

今回の実行委員会では問屋がオープン。実際にブースで必要なものなどは、すべて予算の中から問屋で購入する流れになっています。この日は昨年度までに購入して残っている材料などをもとに、自分のブースではどんなことがしたいか？も考えてもらいました。

問屋は大学生サポーターを筆頭に整理整頓・在庫数チェックが行われました。